

学校評価：保護者等からのご意見・ご要望に対しての教職員からの回答

青森県立田名部高等学校

このたびは、令和8年度第1回学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。様々のご意見を頂戴できましたことに心より感謝申し上げます。

皆さまから寄せられたご意見やご要望は、教育活動をより充実させていく上で大切な指針となります。肯定的なご意見は教職員の励みとして、改善に関するご指摘やご要望は学校運営を見直すきっかけの一つとして受け止めております。

子どもたちが安心して学び、成長できる学校づくりに努めてまいりますので、引き続き保護者等の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月24日

青森県立田名部高等学校 校長 山田 昭

	ご意見・ご要望	関係分掌からの回答
教 務 部	子供を介して問い合わせたことがあるが、解決までご対応頂けなかった。具体的には保護者への連絡ツール(まなびポケット)、未だログインできていません。「生徒がログインしていないから」と繰り返しの回答しか頂けませんでした。	対応に不十分な点があり申し訳ございません。まなびポケットについては、仕様変更等が生じたり、再登録設定が必要になったりということがあります。その都度、設定のお願いをしているところですが行き届いていない点もあるかと思しますので、随時対応いたします。お手数ですが、再度生徒のログイン状況をご確認いただき、その上で解消されない場合は、あらためてお問い合わせいただければと思います。
	生徒から担任への問い合わせにも対応が曖昧らしい話も耳にします。先生方がご多忙なことは重々承知していますが、あと少しでも親身になってご対応頂けますと幸いです。 連絡事項が簡潔過ぎて生徒に伝わっていない事があるようなので、細かく連絡してほしいです。	対応に不十分な点があり申し訳ございません。必要な連絡が確実に伝達されるよう職員で共有します。その一方でお願いもあります。高校生活での連絡事項は量が多く、多岐にわたります。限られた時間の中ですべてを説明することは難しく、場合や内容によっては要点だけの説明や、連絡ツール(GoogleClassroom)への記載だけで済ませることもあります。その中で不明な点は、生徒が説明を聞きに行くようにご指導ください。そのような普段からの姿勢が、「物事を自分事として捉える力」「情報を取捨選択する力」の育成につながると考えています。
	学校からの情報が一切わからないことが多すぎる。クラスルームで子どもたちには連絡いっているようですが…。遠足にしても、学校行事の一つなので、保護者向けの配布物があってもよいのでは。紙媒体ではなくても、メール配信等を使って周知してもよいと思う。保護者説明会で伝えなければならない事以外は、特に保護者には伝える必要性がないとのことなのか。高校は中学校までとは違うとなれば、それまでですが。	保護者に直接伝えるべき内容についてはプリントの配付等を通じて連絡しているところですが、ご不便をおかけして申し訳ありません。ご指摘の通り、中学校との違いがあることは間違いありませんが、生徒自身で物事を管理してほしいという側面もあります。今後も「保護者に直接伝えるべき内容」「生徒を通じて伝えてもらう内容」を整理しながら対応してまいります。なお、月間行事予定は生徒を通じて毎月配付し、学校HPにも掲載しておりますので、日程についてはご参照ください。また、ご意見にあった遠足の配付物については、保護者等宛文書を生徒に配付しています(1年次:5月1日付、2年次:5月11日付、3年次:4月24日付)ので、場合によっては生徒がうまく渡せていない状況もあるかもしれません。一因として、小・中学校時代から連絡ツールを用いて学校から直接保護者等に連絡されることが常態化し、生徒が保護者に伝える習慣が身に付いていないことが考えられます。ご家庭でも、学校からの情報を生徒自身が伝えるようご指導いただき、「自分で物事を整理する力」「情報を取捨選択する力」「情報を伝える力」の育成にご協力ください。
	全ての連絡事項は生徒本人の携帯に来るようなので、中学校までとは全く違って、親は学校で何が起きているのか、宿題もあるのかないのか、授業もあるのかないのか、全くわかりません。自立していかなければならない時期なのはわかりますが、中学までとの違いが大きすぎて、(携帯との付き合い方も)学校生活のことは全く把握していないのが本当のところですか。こういうものなのでしょうか。本人は「高校バカ楽しい」と言っていますが、中間テストの点数は信じられないくらい過去最悪でした。このままではヤバイと思っていますが、学校からの紙のお便りなどもないので、何があるかの確認もできず、「???」という日々を送っています。	その他ご意見にあった「宿題の有無」については、高校生にとっては保護者に直接伝えるべき(保護者が管理すべき)内容でないと判断します。生徒自身が日程を整理し、期限に間に合うようしっかりと取り組むものが宿題です。不安な場合は、ぜひお子さまにお問い合わせください。
	日頃子どもが楽しく学校へ通えていることに感謝しております。一方で、修学旅行等、こちらの知りたい情報の案内が無かったりギリギリだったりしますが、承諾書が必要な場合は事前の説明がないと不安です。また、部活などの案内も直前のものが多いため、送迎等の調整が大変な場合があります。先生も大変かと思いますが、昨今の高校生の修学旅行や部活の事故のこともあるので、余裕を持った案内や説明をお願いいたします。	前述の通り、今後とも必要な案内が確実に伝わるように対応してまいります。また、ご指摘にもある通り、余裕を持った連絡体制になるよう、学校全体で共有していきます。また、それぞれ(保護者、個々の担当教員等)に「必要な説明」「直前」の考え方や捉え方も異なる場合があります。具体的にどのような説明を求めているのか等、部活動顧問などと直接相談していただく、より適切なやり取りができるかもしれません。
	仕方がない事だとは思いますが、同じ教科でも担当の先生が違う事であからさまにクラス毎の平均点が違うという話を伺いました。子供達のやる気も原因かと思いますが、なるべく同じような平均点になるような指導方法に改善していただければと思います。	考査の得点に関してご心配をおかけして申し訳ありません。今後とも全教員が教科指導力を向上させるよう努力してまいります。どの教員も「完璧」ではありませんので、授業について何か疑問や困っている部分があれば、生徒から直接お伝えください。ご意見をいただくことで、何が生徒の学力向上の壁になっているかを知ることができ、我々の指導力向上にもつながります。
	田名部高校全体の学力向上の為に子供達に分かりやすい授業をお願いしたいです。また先生に質問しやすい環境作りをしてほしいです。ご指導よろしくをお願いします。	今後とも学校全体で指導力の向上のために取り組んでまいります。他業務との兼ね合いもありますが、基本的にどの教員も質問はいつでも受け付けますので、ぜひ積極的に声をかけてください。また、どのような形が「質問しやすい環境」なのかご提示等いただければ、参考にさせていただきます。
	毎日課題、週末課題、小テストで復習に力を入れてくれていてありがたいと思う反面、課題の量が多すぎると感じる。土日遊ぶ暇もない位、各教科の課題が重なってかわいそうです。	課題や小テスト等についてですが、生徒たちの学力向上のため、各科目で適時適切に出されていると思います。この機会に学校全体としても課題や小テスト等のあり方について情報収集・検討し、より適切な形を目指していきます。ご家庭におかれましては引き続き課題に向き合う生徒たちを支えていただきますよう、お願い申し上げます。

教務部	先生方をはじめ、部活動の先輩、クラスメイトと良い人たちに恵まれたことについては、こちらに入学させて良かったと思っています。定期テストが2回ほど終わりましたが、質問する時間を設けて頂いたり、テスト対策プリントを配布し学習に取り組めるようにして頂き良かったです。ただ、配布されるのが2、3日前とぎりぎりで行き届いていないのが大変だったようです。先生方もお忙しいとは思いますが、せめて土日を挟む前など余裕をもって取り組めるように配布して頂けると助かります。	考査対策プリント等の配布時期は教科担当者で設定しているところですが、内容の定着を考えた時期の設定やできるだけクラスごとに時期の差が出ないような配布をするよう、全体で共有していきます。
	定期考査にて、読める程度の文字の乱れで減点があったようですが、どの教科も共通してそのように指導されているのでしょうか。	考査の採点については教科担当者の裁量です。採点について全体で共通して基準があるわけではありません。ただし、同じ年次の同じ科目の考査では、たとえ教科担当者が違ったとしても採点に差が出ることがないようにしています。 教科や科目の特性、問題の設定などにより、特定の科目や設問で字の丁寧さが求められることは想定されます。また、どの程度を「読める程度の文字の乱れ」と判断するかは教科担当の判断になりますので、ご理解いただければと思います。
	テスト勉強しろしろ言われたけど、そもそも範囲がわからないと困った様子を見かけます。	考査範囲については、明確かつ余裕を持った連絡をするための検討を行い、「年次で取りまとめた考査範囲を考査2週間前に生徒へ配信する」「変更があれば教科担当者が生徒に確実に連絡し、1週間前までに考査範囲を確定させる」という2点を教員間で共有し、実行することとしました。合わせて、生徒たちには「考査期間がどうにかに関わらず、日頃から学習に取り組むこと」も指導してまいります。基本的に、前回の考査の範囲以降の内容が次の考査範囲に反映されます。したがって、考査範囲が提示される前から、いつでも考査勉強を始めることは可能です。そのような姿勢が主体的に物事に取り組む力につながるものと考えます。保護者の皆様におかれましても、日頃から生徒の学習状況や学習を支えるためにできることをご検討いただければと思います。一体となって、生徒たちの力を伸ばしましょう。
生徒指導保健部	文化祭の髪型はなんでもいいと思います。編み込みがダメとかよくわからない。「奇抜なものにはしないで」で通じると思います。	R6以前から、生徒からも同様の声があり、R6に生徒会やクラス代表者と検討を重ね、R7より「染髪等はせず、その日のうちに通常の自分の髪型に戻せる範囲内」等といった条件付きではありますが、「一般公開日に田高生の頭髪の自由化」を実施しました（R8も）。生徒や来場者からも概ね好評の意見が多かったように思います。次年度以降もまた必要な部分は検討をしていきたいと考えています。
	家族で旅行するのに旅行届が必要だと聞いたが、何のために出させているのか。他の学校や企業でさえそのような届は今はないと思う。コロナが流行した数年前のものをまだ使っているのではないか。スマホ、まなびポケット等連絡手段は多様にあるので、不要なものはないし、真に必要なものを残すべき。他のものも含めて吟味していただきたい。	届用紙の提出ということ自体はアナログであるかもしれませんが、旅行の際には、事務局が発行する「学割証」の発行依頼も多くあります。学割証の発行時に、区間の記入や確認が必要となりますので、旅行届と学割申請書を併せて確認しています。今後提出の流れの簡素化に向けて検討していきたいです。また、この夏休みに全国各地で豪雨による災害や水の事故のニュースも多くありました。生徒やご家族が旅行に行かれることはプライベートな話ではありますが、何か事故や災害等発生した際に、本校生徒がどういった地域に行っているのか把握できることで、状況の確認に役立つといった面もありますことをご承知おください。
	自転車通学の件ですが、自転車用ヘルメットが全国で努力義務化されています。会社などでは、着用義務化しているところも多く、大人の多くが着用しています。ルールも厳罰化されている中、子供達の命を守るためにも、学校は着用義務にするべきと考えます。着用に関しては様々な理由等があると思いますが、要望として述べさせていただきます。 自転車での登下校の際、2列になって走行したり、反対車線を走っていて危ないと思うことがありました。 自転車通学の生徒さんについて、我が子は自家用車で通学しておりますが朝の通学の時間帯、並走して通学している子や横断歩道のない道路を急に横切り、運転中に危険な思いをした為クラクションを鳴らし注意喚起しました。ごく一部の生徒さんなのではないかをご指導よろしく願いいたします。	自転車のヘルメット着用については、むつ警察署とも協力して意識の向上に努めています。この3年ほどでは着用者は徐々に増えている状況です。また、警察に加え、青森県全体の高校生着用率向上に向けて、県の教育委員会とも検討を重ねています。 自転車の交通ルールの厳罰化についても、集会や掲示物での注意喚起に加え、1人1台支給されているiPadのアプリ（Classroom）で周知するなど取り組んでいます。ご指摘いただく通り、毎日自転車利用者全員が完全にすべてのルールを厳守できていないというのが現状かと思います。引き続き自分や他の人の「命」を守る意識・行動であることを伝えていきたいと思っています。
	集会などで集まる時、体育館が暑すぎて疲れるし、具合（頭痛等）が悪くなる時があると聞いています。	今年度は、生徒の健康に配慮し、気象状況や暑さ指数等を踏まえ、体育館での実施をとりやめ、冷房設備のある教室で、放送による集会に切り替える等の対応を行っております（今年は文化祭の閉会式や終業式等）。
	志望大学の情報を沢山ほしい。	校内の掲示物やClassroomへの配信を通して、適宜適切に情報発信を行っています。進路講演会等を企画して、専門的な見地から、有用な情報を得られる機会を設定します。保護者対象の講演会も企画予定ですので、ぜひご参加ください。
進路指導部	今の時代、大学に行くことが当たり前のように言われていますが、進学しない、または進学できない生徒に対しての指導もこのまま続けていただきたいと思っています。公務員予備校のない下北地域は不利な環境ですが学校で講習会を開いてくれることはとても親としてはありがたいと感じています。毎年、田名部高校からは公務員の就職者がおり、これも担当の先生方の指導のおかげだと思っています。担当の先生方も色々考えて講習会を催してくださっていると思いますが今後も引き続きよろしく願いいたします。	進学だけでなく、就職（民間・公務員等）への対応は、継続して行っています。必要な情報の提供や、受験に向けたサポートについては、外部機関と連携しながら進めてまいります。
	今後の模試の結果を参考に、学習計画のサポートや個別相談での進路や受験の助言や指導を頼りにしています。よろしくお願いします。	学校全体で連携して、生徒の進路実現に向けたサポートを行っております。お困りのことがありましたら、遠慮なくお申し出ください。

進路指導部	習熟度別の授業や総合選抜の強化をしてほしいな。	教科指導については、各教科担当と連携しながら、よりよい指導体制について検討してまいります。 総合型選抜等の対応については、試験への対策だけでなく、出願条件を満たすための日々の学校生活における活動の充実も目指してまいります。近年は、試験の形態や内容が多様化し、受験の際には膨大な時間と労力がかかることが一般化しています。機会がありましたら、受験を検討している大学等の募集要項を確認していただき、試験に向けたイメージをご家庭で共有していただけると幸いです。学校とご家庭が連携して、生徒の進路志望実現を後押ししたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。
	生徒1人1人の進路に合わせた学習をさせてほしいと思います。受けてもあまり意味のないと生徒が感じる授業や講習があるのは感心しません。学校生活を送り、講習も受け、となると自分に必要な受験勉強をするための時間を確保するのは難しいです。誓約書で縛ったり、一律に講習を受けさせることは生徒目線ではないと思います。一般受験で現役合格を目指す子どもの親としては、子ども自身の学習時間の確保をさせていただきたいと思います。	学校として、一丸となって進路志望実現をめざすために、一定のルールを設けて進路指導を行っております。そのルールをベースとして、生徒の希望進路に合わせた個別対応を盛り込み、希望進路の実現を後押ししています。個別対応は必要ですが、その範囲が広がることによって、指導のためのタスクが膨大となり、生徒へ適切な指導・助言を行うことが困難になる可能性があります。全ての生徒の希望進路実現を目指していくためにも、一定のルールによって、指導体制を整えて、生徒により良い指導を行っていきたいと考えておりますので、その方針について、ご理解いただけますと幸いです。
部活動	部活遠征時の宿泊費が高く感じる。かなり負担が大きいのでどうにかならないか。	この2年ほどの宿泊費の高騰は教員たちも感じているところです。地域的に宿泊を伴う遠征が多いかと思いますが、大会の試合時間等も考慮し、少しでも生徒の体力的な負担や費用の負担を少なくできる遠征計画を立案することに努めてまいりたいと思います。
	三年生で部活は引退しましたが、校内で部活の練習が十分に出来る環境の整備を要望します。環境が整わず、校外で練習する場合、経済的な負担や場所の移動など支援が増えるため。	本校は全日制と定時制が併置された学校で、教室や体育館やその他の施設も共用することが求められます。生徒や保護者の皆様には部活動という面においても負担をおかけすることも多くあり申し訳ありません。練習場所・時間が限られている中、部員や顧問、場合によっては部活動間での相談、合同練習機会の創出等も含めて、生徒が部活動に集中して取り組めるよう努めてまいりたいと思います。
	部活動を休みにくい感じがあります(家の都合、体調等色々あるのに)。	まずは顧問へ相談をお願いします。顧問への相談が難しい場合は担任や年次主任等へご相談ください。
	部活の遠征日程がわかる(承諾書の配布)のが直前なので、もう少し早くわかれば応援の予定が立てやすい。	早期の遠征計画立案、生徒や保護者への計画提示に向けて努めていくよう教員間で情報共有します。
学校生活	PCのスキルの習得、高卒就職に困らないような基礎知識の教え。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 社会の情報化が進む中、パソコン等情報処理機器の基本操作や情報活用能力は、進学・就職を問わず重要なスキルであると認識しております。本校では情報や総合的な探究の時間をはじめ、様々な教育活動を通して、機器の基本操作や情報活用能力の育成に取り組んでおりますが、今後も生徒の進路目標実現に役立つ実践的なスキルや、社会人として必要な基礎知識について学ぶ機会の充実に努めてまいります。
	5月の早掛さくら祭りのダンスの時は本当にひどい雨でした。4・5組だけ屋根のないところで踊っていたが、あれは全員を屋根のある所に入れるとか何か工夫があってもよいと思った。もはや制服も雨がひどすぎて見れる状態ではなかったし、濡れすぎて可哀想だった。	率直なご意見をいただき、ありがとうございます。 イベント当日は激しい雨の中での活動となり、生徒の体調や安全、制服の濡れなどについて、ご心配とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。 屋外での教育活動は、天候状況も踏まえながら実施しておりますが、ご指摘いただいた内容を真摯に受け止め、今後は生徒の安全確保や負担軽減の観点から、雨天時の対応や待機場所の確保などについて検討し、より適切な対応に努めてまいります。
	購買の食品をもう少し安くしてもらえたら嬉しいです。例えばパン二つ買ったら10円～20円割引など。	貴重なご意見ありがとうございます。購買では元より消費税を頂戴しておらず、年々売上が減少傾向にあるなかでも価格維持に努めております。また、割引の導入は休み時間の会計作業が煩雑化し、混雑を招く懸念もございます。ご要望にお応えできず心苦しい限りですが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
	学校の様子はわかりません。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 学校での教育活動や生徒の様子について、十分にお伝えできていなかったことを真摯に受け止めております。 今後は、学校ホームページや各種たより、学校行事への参観等を通して、生徒の活動や学校の取組をより分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	先生によって生徒との接し方、指導の仕方にずいぶん差があるなど感じています。	率直なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 教職員には、それぞれの専門性や指導上の工夫がありますが、どの教職員であっても、生徒一人ひとりの人格を尊重し、公平かつ適切に接することが大切です。指導の受け止め方に大きな違いが生じることで、生徒が戸惑いや不安を感じることはないよう配慮する必要があると考えております。 今回のご意見を教職員間で共有し、生徒への言葉のかけ方、説明の仕方、指導の進め方について改めて振り返るとともに、学校として大切にすべき指導姿勢の共通理解を図ってまいります。あわせて、生徒が困ったことや不安に感じたことを相談しやすい環境づくりに努めてまいります。

学 校 生 活	もう少し生徒に寄り添ってほしい。	大切なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 生徒が学校生活の中で不安や悩みを抱えたとき、自分の思いや状況を受け止めてもらえると感じられることは、安心して学び、成長していくうえで大変重要です。その点において、「寄り添ってほしい」と感じさせてしまっていることを、重く受け止めております。 教職員が生徒の話を丁寧に聴き、表面に現れた言動だけで判断することなく、その背景や置かれている状況にも目を向けながら、必要な支援ができるよう努めてまいります。
	先生たちの言葉遣いが少し気になる時があります(子供から、他から聞いたことですが)。	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 教員の言葉遣いについて、ご心配をおかけしていることを真摯に受け止めております。日頃から生徒一人一人を尊重したコミュニケーションを心がけておりますが、あらためて教職員間で共有し、言葉遣いや接し方についてより適切に対応できるよう努めてまいります。
そ の 他	アンケートについて、記名だと学校側が要望や意見に対する返信ができるというメリットがありますが、生徒も保護者も本音で回答できないというデメリットもあるかと思います。本心の回答を望むのであれば、アンケートの取り方を見直してみてもいかがでしょうか？…と、毎年思います。ご検討よろしくをお願いします。 アンケートがなぜ記名式なのでしょう。	貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、記名式には、いただいたご意見の詳細を確認し、個別の相談や具体的な対応につなげやすいという利点があります。一方で、回答者が特定されることへの不安から、率直な意見を書きにくいと感じる生徒や保護者がおられることも十分に考慮する必要があります。 本校ではこれまでも、アンケートや相談等でいただいたご意見等について、個人情報の保護や、情報を提供してくださった方への影響に十分配慮しながら対応してまいりました。今後も、より一層慎重な取扱いに努め、安心してご意見をお寄せいただける環境づくりを進めてまいります。 また、アンケートの実施方法や回答内容の取扱い、個人情報への配慮などについては、その都度丁寧に説明し、本校の取組へのご理解をいただけるよう努めてまいります。
	先生によって一部の生徒に対してえこひいきと思ってしまう、言動や行動があるようですね。その科目に関連する経験者を名簿にチェックを入れ、目をかけ、経験のないその他をほっとくような態度がひどく見られるとあちこちから聞こえてきます。また「お前ら中学レベルの問題も解けないのか終わってるぞ」「このレベルの問題でつまずくとは授業を聞いていたのか」などの発言も日常的に先生から生徒へあるようで。	教員の生徒への接し方や発言について、具体的にご懸念をお寄せいただき、ありがとうございます。生徒が不公平に扱われていると感じたり、学習への意欲や自信を失ったりすることにつながりかねない内容であり、学校として真摯に受け止めております。 すべての生徒が公平に指導を受け、安心して学習に取り組める環境を整えることは、学校の重要な責務です。また、生徒の人格や尊厳を傷つけると受け取られかねない言葉は、指導上適切ではありません。教職員には、生徒が分からないことや間違えることを責めるのではなく、それぞれの状況を理解し、学び直しや成長につながる言葉を用いることが求められます。 今回寄せられたご意見を踏まえ、生徒への公平な接し方、言葉遣い、個に応じた生徒への支援について教職員間で改めて確認し、安心して学べる授業づくりに努めてまいります。
	最後に教育委員会の担当ですが、英検を重視する大学が増えている現代なので、生徒がチャレンジしやすいような英検の検定料の助成金などがあったら、助かるなあと思います。	ご意見をいただき、ありがとうございます。 英語力の向上や資格取得への挑戦は、生徒の進路実現にとって大変有意義であると考えております。検定料の助成については個別の学校で対応することが難しい面もありますが、学校として、生徒が各種検定に挑戦しやすい環境づくりを進めるとともに、生徒が目標とする検定に合格できるよう、授業や補習を通じた指導の充実等、資格取得に向けた支援を継続してまいります。